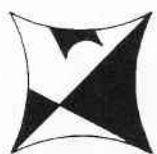
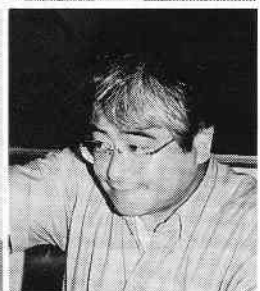
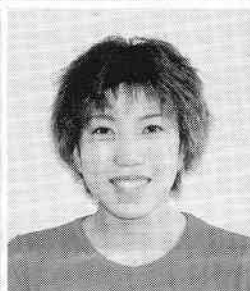


第54回全国造形教育研究大会  
北海道大会 in 札幌



北海道  
造形教育  
連盟報

No. 112 2001. 7. 21 発行

発行 北海道造形教育連盟

委員長 芝木秀昭

事務局 〒004-0032 札幌市厚別区上野幌2条4丁目5-1

札幌市立上野幌東小学校 藤井正治

☎011-893-5055 FAX011-893-3537



# 造形の未来を創る大会に

第54回全国造形教育研究大会

大会長 芝木 秀 昭

(北海道造形教育連盟委員長)

## 1 はじめに ●●●

北海道造形教育連盟が、「<いま><ここ><わたし>」を基軸にして造形の未来を創る」を研究主題に21世紀最初の記念すべき年、2001年9月に第54回全国造形教育研究大会北海道大会 in 札幌、並びに第51回全道造形教育研究大会を各地区サークル・札造連・札教研図工・美術部と共に盛大に開催いたしますことに皆様と共に心から喜び合いたいと思います。

## 2 「心の豊かさ」と「生きる力」を ●●●

今、教育界は2001年の新しい教育課程の完全実施を目前に控え、第一の教育改革である明治初期の学制発布、北海道造形教育連盟が発足した頃の戦後の新教育への転換時期であった第二の教育改革、そしてそれに次ぐ第三の大きな改革の最中にあります。

今、家庭や地域の教育力の低下が指摘されていますが、学校教育でも混迷する時代に自分がどこに位置するか、自分の存在の根拠が何であるか分からないという状態の子供たちが見られます。自分と他者との関わりを見失っている子供たちとどう関わり、どう導いていくか、課題が多々あります。

造形教育は、人と人、人とのものが触れ合い、心の安らぎや安心感を味わえる活動、やりたいことが分かり、自ら決定し実現する喜びを味わえる活動、健全な精神と自他や対象に対する誠実な心を育てる活動を通して「心の豊かさ」や「生きる力」を育てていくことを目指しています。具体的なものとの関わりの中で自分を実感し、自らの手で何かをつくり上げていく中でその実感をつなぎ合わせ、「自分」として認識し、他者と共通の体験活動を通して生き続けることの大切さを学ぶことを重視し、研究・実践を積み重ねています。

## 3 北海道造形教育連盟の基本理念 ●●●

私たちは造形教育の基本理念を「豊かな心」と「生きる力」を育む教育とし、毎年全道各地で研究大会を開催し、実

践研究を続けてきました。

第47回根室大会では「感性から発し、躍動する力を育む造形学習」を研究主題に、変化のある新時代に生きる力を持った人間を育てることを目指し、人間形成の役割を担う教科として存在価値を内外に確かめようとしてきました。

第48回留萌大会は「楽しさにひたり伸びやかに表す造形活動と、共感し寄り添う指導」を研究主題に、個性や創造性を重視し、基礎的な能力を育て表現の喜びを味わうことに迫りました。

第49回オホーツク大会は「オホーツク発 思・創・喜・感～一人ひとりが創造的な喜びを実感するために～」を研究主題に、子供一人一人が生き生きと創作活動を展開し、自らの良さや可能性を発揮するよう、思＝個性・創＝創造・喜＝喜び・感＝共感の観点から迫りました。

そして昨年、第50回函館大会は「豊かな自分づくりを生かす想創活動」とし、一人一人の良さや可能性を生かすことを根底に、豊かな人間性や生きる力の育成を目指しました。

このように私たちは一貫して造形教育の大切さを問い豊かな人間性や生きる力の育成を目指したのです。

## 4 そして北から始まる造形の未来 ●●●

北海道造形教育連盟は創立51年目を迎えます。私たちは「北から始まる造形の未来」を合言葉に第54回全国造形教育研究大会の準備を進めてきました。全国各地の先生方や造形教育に携わる方々と、そして何よりも子供たちとで「つくる」こと、「表現する」ことの喜びを分かちあいたいと思います。

本大会が子供たちに「豊かな心」や「生きる力」を育み、「<いま><ここ><わたし>」を基軸にして造形の未来を創る」手がかりとなる大会であったか、公開される授業提案や五つの扉での提言、パネルディスカッション中で忌憚のないご指導ご批正を賜りたいと思います。



大会研究主題『〈いま〉〈ここ〉〈わたし〉を基軸にして造形の未来を創る』へ

## 《五つの扉》をともにひらこう

第54回全国造形教育研究大会

北海道大会研究局長 川 島 正 夫

### 17の授業を公開

21世紀最初の全国造形教育研究大会がいよいよ開催されます。私たちは、21世紀に生きる人間像に迫るために「〈いま〉〈ここ〉〈わたし〉」を基軸にして造形の未来を創る」を研究主題として掲げ、17の授業（幼稚園3、小学校7、中学校6、高等学校1）を全国の皆さんに公開致します。

### 授業づくりの柱

私たちは研究主題の具体化を目指し、「いま感じてほしいこと」「ここでつくってほしいこと」「わたしにひらいてほしいこと」を柱として授業づくりに取り組んできました。

「感じてほしいこと」は造形活動で大切にしたい「心」になります。「つくってほしいこと」は造形活動の「内容」になり、そして「ひらいてほしいこと」は従来の言葉で言う「題材の目標」や「美的価値」ということになるでしょう。さらにこの「ひらく」の中に、今までとは違う世界に降り立った〈わたし〉の表現による夢や願いの実現された状態、という意味を持たせました。私たちは子供が「ひらく」ことによって、内面が豊かになり、自分づくりや未来づくりに向かっていってほしいと願っています。

「ひらく」ということを子供の側からみると、“高まりの自覚”というように考えることができます。小学校高学年以上の子供では“自己評価”という形で現れることが可能でしょう。小学校低学年より下の子供では“ひたる”“没頭する”などの姿として現れると考えています。

子供が「ひらく」姿の現れこそ、造形活動が子供に提供する価値そのものです。同時に、子供が〈過去〉から〈現在〉への高まりを自覚する中で有能感や自己の可能性の広がりを感じ取るものであり、〈未来〉を紡ぎだしていく土台となるものと考えてきました。ですから「ひらく」という考え方を、授業構築や授業評価の観点の中で重要視し、「子供のひらく姿がみられたか？」を合言葉に研究を進めてきたのです。

### 『五つの扉』から迫る

私たちは今大会で、子供の「ひらく」姿を生むためにより具体的な造形活動の観点となり、その後の研究討議の切り口となり得るように『五つの扉』【①遊びと造形、②も

の・材料（環境）と造形、③コミュニケーションと造形、④暮らしと造形、⑤個性と造形】を設定しています。これは、平成8年の第46回「全道造形教育研究大会 札幌大会」において『8つの扉』【①遊びと造形、②造形ともの・材料、③造形と環境、④造形とイメージ、⑤造形とメディア、⑥造形個性、⑦造形と技、⑧造形と鑑賞】として提起し、継続して研究してきたものを再考察し、発展・統合させたものです。

私たちは、この『五つの扉』を開くことで、子供の「ひらく」姿を求めいくことにしたのです。「題材の目標」は適切であるのか？その「内容」に子供が没頭できる造形的な豊かさや魅力があるのか？そして、今の自分が持っているよさが、場所や材料との実感を伴ったかかわりの中で共鳴し合うものとなっているのか？時には試行錯誤をしながら、子供の「ひらく」姿を見つめてきました。

また、私たち北海道造形教育連盟は、幼稚園、小学校、中学校、高等学校の校種の壁を取り払った中で、授業交流をはじめとした研究を進めてきました。今大会での提言にも開催地札幌だけでなく全道各支部から各校種の多様な実践が発表されます。この公開授業および提言において、『五つの扉』から幼稚園から高等学校までの子供たちの「ひらく」姿を、全国の造形教育の仲間の皆さんにご覧いただきたいと考えています。そして、北海道の主張を「うるおう」「ひたる」「かかわる」「わかちあう」子供の姿を通して、捉えていただければ幸いです。

さあ、『五つの扉』をともにひらきましょう。

### 造形の未来へ

私たちは、豊かな自然に恵まれおおらかに開放的なこの北海道の独自性を遺憾なく発揮し、未来へ「生きる」エネルギーとして「夢」「想像力」「創造力」を大きく育む大会、まさに、『北からはじまる造形の未来』足り得る大会にしたいと、固い決意と熱い思いで、全国の皆様をお迎えします。

全道の仲間の中で、大会を盛り上げよう！

# 第54回 全国造形教育研究大会 北海道大会 in 札幌

第51回 全道造形教育研究大会

## 研究主題

〈いま〉〈ここ〉〈わたし〉を基軸にして造形の未来を創る

私たちがめざす授業に向けて、未来を開く「5つの扉」を窓口として授業構築や研究討議を重ね、未来に生きる「造形ボックス」として実践を整理・集約してきました。

### 個性と造形

本質を見抜く力やその子らしい創造性を発揮しながら、主体的に問題解決に向かう中から〈わたし〉らしさに気づいていきます。

子どもが主体的に問題解決に向かうことから、自分の中の新しい〈わたし〉に気づいていきます。

### もの・材料（環境）と造形

「もの」との対話、地域資材の可能性、新しい「もの」と「人」との関係など、子どもが「もの」とかかわり、取り組んでいく姿から子どもの未来を見つめます。

繰り返し〈もの〉に「かかわり」、つくり続ける姿から子どもの未来を見つめます。

### 暮らしと造形

自分の周りをより豊かにしていこうとする造形活動や、子どもの感性や美的感覚を沸き立たせる生活環境への働きかけからせまります。

〈わたし〉が感性や美的感覚を沸き立たせ、生活環境へ働きかけることから、暮らしに「うるおい」が生まれます。

## 未来を ひらく 5つの扉

### 遊びと造形

子どもたちは身体全体を使った遊びの中で物を感じ、捉えていきます。身体感覚でものを捉えることから〈わたし〉らしさにせまります。

自分の世界にたっぷりと「ひたる」ことで、〈わたし〉らしい造形表現が生まれます。

### コミュニケーションと造形

〈わたし〉と〈わたし〉が一緒にものをつくり、互いに理解し合い、心を伝えふれ合う中で、新しい〈わたし〉を見つめていきます。

互いに理解し合い、心を伝え合う中で、新しい〈わたし〉をひらいていきます。

# 大会日程と開催内容

## 記念講演会

「夢と感性と創造性をはぐくむ  
図工・美術教育」  
一心豊かに生きる美術教育の教科性一

遠藤友麗氏

文部科学省初等中等教育局視学官

◇講師紹介◇

昭和18年(1943年)横浜市に生まれる。  
東京芸術大学美術部卒業。  
日本感性教育学副理事長。  
関東教育学会・日本道德教育会会員

## パネルディスカッション

テーマ：未来に向けて、自分を「ひらく」子どもの姿とは？

○コーディネーター

村瀬 千穂 氏 (北海道教育大学教授)

○パネリスト

岩崎由紀夫 氏 (大阪教育大学助教授)

水島 尚喜 氏 (聖心女子大学助教授)

金井 秀男 氏 (北海道造形教育連盟顧問)

5つの扉のそれぞれにおいて期待される子どもの姿が『ひらいた』姿であり、その具体的な『ひらいた姿』に、4人のパネラーが熱い討論を通して迫っていきます。

## 第1日目 9月6日(木)

会場：ホテルライフォート札幌

9:30	
10:00	
12:00	
12:30	受付
	全小図連
	全中美連
14:00	
15:00	代議員総会
15:30	受付
16:00	開 会 式
17:00	全 体 会 (大会宣言・基調提案)

## 第2日目 9月7日(金)

	なかのしま 幼稚園	幌 南 小学校	三角山 小学校
8:30	受付	受付	受付
9:00	一斉授業 公開	階段式授業 公開	階段式授業 公開
10:30	分科会	分科会	分科会
	研究討議	研究討議	研究討議
12:30	昼食・移動	昼食・移動	昼食・移動
14:30	歓迎演奏会 (道新ホール)		
15:10	記念講演会 遠藤友麗氏 (文部科学省視学官)		
17:00	移 動		
18:00	レセプション (サッポロビール園)		

## 第3日目 9月8日(土)

会場：札幌芸術の森

9:30	受付		
10:00			全国実践 バザール
10:30	ワーク ショップ	パネルディス カッション	
12:00			
12:30			全国実践 バザール
13:00	終了・後始末		

会期 平成14年1月10日(木)～16日(水)

第28回

# 北海道教育美術展

■ 締切…12月17日(月)

## 第27回 奨励賞作品



札幌市立新陵小学校  
6年 千葉彩香

北海道教育美術展は全道各地の保育所、幼稚園、小学校、中学校の子供達の作品を集めた道内最大規模の展覧会です。子供の思いにあふれ、素直でのびのびとした作品が多く、指導者の熱意とともに全国的に高く評価されています。

今年度も子供らしく楽しい作品、豊かな感性にあふれた作品を期待しております。日常の学習活動の中で取り組まれた作品を多数応募くださいますよう、お願いいたします。

## 応募規定

- 絵画、版画、デザイン等の作品とし、学校(園)を窓口として応募する。
- 大きさは4つ切り(4つ切り以下の作品は4つ切り大の台紙に貼る。中学生は8つ切り大の台紙も可)
- 一人1点の出品とする。新しい表現の作品や半立体の作品についても次のような基準内で応募できます。
  - ・ 積み重ねてもつぶれない、かさばらないもの。
  - ・ 接着が強固ではがれないものであるもの。
  - ・ 画鋸で展示が可能な重量であるもの。

主催 北海道造形教育連盟  
北海道新聞社  
後援 北海道教育委員会  
協賛 さっぽろ東急百貨店  
株式会社 **サクラクレパス**

応募先 〒006-0921 札幌市中央区南21条西5丁目  
札幌市立幌南小学校 北海道教育美術展 宛  
問い合わせ先 札幌市立創成小学校 稲實 順  
TEL 011-241-1756 FAX 011-241-1757

### 奨励賞作品で研修しませんか？

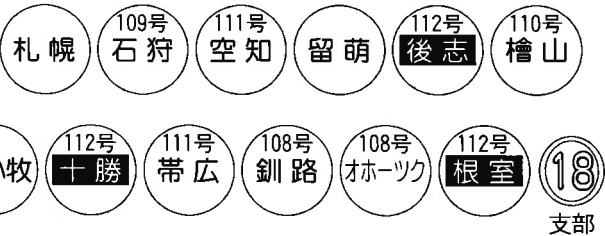
奨励賞の作品は貸し出しをしています。スライドも用意しています。研修会などにご活用ください。(貸出料・送料は実費負担です。)申し込みは事務局へ！

平成13年度

### 役員・本部事務局紹介

委員長 芝木 秀昭 (札幌市立幌南小長)	監査 内田 暢一 (美唄市立中央小長)
副委員長 及川 輝夫 (旭川市立東鷹栖中長)	事務局長 藤井 正治 (札幌市立上野幌小長)
〃 繪面 和子 (函館市立大森小長)	会計部長 富田 泰 (札幌市立八軒小長)
〃 吉田 英夫 (千歳市立青葉中長)	庶務部長 池田 悦子 (札幌市立円山小)
〃 斉蔭 隆博 (池田町池田中長)	研究部長 櫻田 豊 (札幌市立北園小)
〃 江川 佳徳 (札幌市立札幌中長)	事業部長 田口 和男 (札幌市立白石小)
監査 若竹 隆邦 (熊石町立雲石小長)	広報部長 中居 正光 (札幌市立月寒東小)

# 地区サークル紹介



支部

## ●十勝造形サークル

「造形活動を若さで進めるパワー」

十勝造形サークルは新入会員の入会がほとんどなく、会員が最近減少してきています。しかし、年齢的に若い会員が多く、パワーを感じています。昨年から会員全員で14年度に控えた全道大会にむけて準備を帯広と進めているところです。

造形サークルの活動の様子を紹介します。十勝で行われている「十勝子ども大会」の審査や展示では毎年積極的に手弁当で参加協力してくれています。

作品展示の期間は短いのですが、多くの保護者などが子ども連れで大勢作品を見に訪れます。

これもサークルの会員一人一人の努力の積み重ねが認められ管内の各学校にも浸透し管内全域から応募があり、十勝管内の権威ある作品展として造形活動の一翼を担っています。また、管内サークル研究大会の図工・美術部会への参加も多く、活発な授業の話し合いや研究発表などの交流が盛んです。毎年少人数の会員でありながら一堂に会する機会が少ないので忘年会をかねて実技研修を行っていてこれが一番のお互いの交流の場になっています。来年度に向けて本格的に活動を開始したいと考えています。

〈広尾町立豊似中学校 下坂 正之〉

## ●根室造形教育連盟

「新体制での発進を目指して」

当連盟は、根室管内1市4町の小・中学校の会員で構成されております。歴史的には昭和44年4月発足という事で、なんと30有余年の伝統を背にして今日に至っております。現在17名の会員数。

平成の時代に入ったあたりから、いよいよ会員数の減少傾向や構成員の世代交代の最中において会費徴収は勿論のこと、単年度事業にかかる各種団体助成金等の申請事務手続き処理が全道的に年々面倒な傾向になってきたのは否めません。これでは、弾力的運用も儘にならず、結構窮屈な形で着実にこなさなければならないわけで、“創意工夫の発揮”を真剣に期せねばなりません。

そこで、実践例としては、ここ2~3年前から管内の各種機関や団体に呼びかけ、単独事業を避けてなるべく《共催》という形の連携プレーを実現する方向に転換するようになってきました。1市4町の各図工・美術サークル(同好会)の活動計画や根室教育研究所等の事業企画(実技講座)の中から掘り起こしていく発想と実践です。当面、こうした積み上げを展開しつつ、新世紀の幕開けと共に当連盟ならではの模索はさらに一段と厳しく続きそうです。

〈標津町立北標津小中学校 大井 誠一郎〉

## ●小樽市教育研究会(図工・美術部会)…後志地区「指導力の向上をめざして」

本研究会は、学校の全職員がそれぞれの研究課題に合わせて、部会を選択し、一年間活動する形になっています。現在は、図工・美術部会では、各学校の図工・美術担当の先生方を中心に、日常の実践交流や小樽市の児童生徒の小中図工美術展を主催したりといった活動を行っています。本会は今まで造形連盟との接点がありませんでしたが、図工・美術教育の動向を知る大切な機会として、会の中に広く参加を呼びかけているところです。

会員は現在小学校45名、中学校14名で構成されています。部会は、小学校・中学校と二つの部会に分かれています。小学校部会では、過去に絵画の領域、工作の領域などに分かれて研究を進めてきた時期もありましたが、現在は学年ごとのブロックに分かれて、実際に指導してみてもの悩みや指導上の工夫など交流し合っています。専門が図工ではない先生方が多いこともあり、話し合いの中でも特に指導技術の情報交換が活発で、会員の技術向上についての関心は高いと思われます。

図工の研究会の回数は年5回予定され、一斉部会以外でも、美術館鑑賞会や実技講習会なども開かれています。図工美術教育の指導者の底辺拡大をめざし、より実践に生かすことができる会を模索中です。

〈小樽市立忍路中央小学校 竹生 元〉



地区情報をお寄せ下さい

留萌地方  
美術教育研究会

上川  
造形教育研究会

◇3月に留萌管内児童・生徒版画集『版』(第10集)を発刊。残部があります。ご希望の方は 留萌市立緑丘小学校 斉藤 友昭【TEL 0164 (42) 1294】までご連絡下さい。

◇新たに設立された上川造形教育研究会の初年度の歩みをまとめた「平成12年度 研究収録」を4月に発刊。盛り沢山の実践と事業が修められています。問い合わせ先…美瑛町立字幕別小学校 坂野 潤治【TEL 0166 (92) 3715】

## 20人の先生方による17の公開授業

会場	幌南小学校				
5つの扉	遊びと造形	遊びと造形	もの・材料(環境)と造形	暮らしと造形	個性と造形
公開 授業	札幌 なかのしま幼稚園 年長 「ながい、なが〜い。」 藤原 朋美	札幌 幌南小学校 6年 「この時、 この場で…」 沼田 玲子	札幌 山鼻小学校 5年 「アルミ星の旅」 齋藤 志保	札幌 新陽小学校 6年 「くらし メイクアップ」 湯浅 大吾	札幌 幌南小学校 2年 「のっけてって くっつけてってって」 能登谷治恵
	年中 「たんけんに出発!!」 関口 真美 小野 旬子	札幌 新陵中学校 中3 「せんであそぶ」 椿野 衣江	札幌 あいの里東中学校 中1 「地域環境を 素材に」 豊田 ゆき	札幌 北都中学校 中1 「うるおう心 たのしい瞳」 西川紫菜子	札幌 柏丘中学校 中2 「自分の知らない 自分の発見」 宮崎 亨
	年少 「へ〜んしん!!」 横山 美恵 鳥羽 和美				

会場	三角山小学校				
5つの扉	遊びと造形	コミュニケーションと造形	個性と造形		
公開 授業	札幌 円山小学校 6年 「ウォータースタジオ 三角山」 小林 充裕	札幌 三角山小学校 5年 「ぼくのわたしの ウルトラか〜かし」 藤森 久美	札幌 中1 「ようこそ先輩 アニメーションで 交流を」 大倉山小学校 佐藤 真史	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     当日は、開始時刻が一定では なく、階段式に授業が公開され ます。たくさんの方の授業にゆっ くりたっぷりご参加ください。                 </div>	
	札幌 発寒小学校 5年 「ギャラクター」 八田 博之	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     分科会にも たくさんご参 加ください。 5つの扉へも ぜひ、ご意見 ください。                 </div>	宮の森中学校 高橋久美子		

風よ 大地よ 夢よ  
北からはじまる造形の未来



### あ と が き

いよいよ第54回全国造形教育研究大会北海道大会です。現在、札幌支部の大会実行委員会を中心に準備が進められているところですが、この大会は全道各地の造形教育連盟、地区サークル会員の皆様のご協力なくしては成功はありえません。ぜひ大会当日への参加と力強い協力をよろしくお願いいたします。  
○広報部/小泉 誠, 東 尚典, 山室ゆかり, 太田寿栄子, 富田賢司, 中山龍男, 加藤正幸, 土肥宏充, 中居正光